

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース											
ベーシックレッスン1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	西川進			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
編曲やトラック制作をする際の「フレーズの作り方」に関して学びます。楽器演奏のテクニックを学び、幅広いジャンルに素早く対応できるスキルを身につける。リードシートを読み取りながら、各ジャンルの曲目をセッションしていきます。発声などのヴォーカルトレーニングとコーラスなどを学びながら、現代のJ-POP・Rockのルーツをさかのぼって学習していきます。											
到達目標											
いかなるコード進行やリズムパターンにおいても、的確かつオリジナリティーのあるフレーズを構築出来ること。STEAM学習方針を取り入れ、創造の基盤となる総合的な知識や経験力を身につける。多様な音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックギンが出来るということを前提としている。自分本位な演奏だけではなく、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏ができる雰囲気を作るためのコミュニケーション能力も体得する。多様な音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。周りのミュージシャンとコミュニケーションをとりながら、相手がどんな事を考えているかなどを察知して、対応力のある演奏スタイルを身につける。多様な音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行であっても、即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につけること。ポップスフィールドの中でコードネームに対して音楽をより良くする適切なバックギンが出来るということを前提としている。自分本位な演奏だけではなく、いかに周りの音を聴きながら演奏するか、そして良い演奏ができる雰囲気を作るためのコミュニケーション能力も身につけること。総合的、実践的											
授業方法											
毎週違った「推薦曲」のフレージング分析。多種多様なコード進行、スケール、リズムパターンにおいてのフレーズ作りを、教室のDAWにて実際に体験してもらう。西川進オリジナル作品のステムを使い、各楽器のフレージングのこつを学び、作品を完成させる。即興力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ演奏を実施する。必要に応じた講師からのフィードバックにより今後への課題を各自考察する。ヴォーカリストコースとのコラボレーションによる共創型課題も適時実施する。各楽器奏法の体得に加えて、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説する。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品の制作をPBLベースで実践を行う。リードシートを使い曲の進行やコードを読み解きます。各楽器セッティングをしコミュニケーションをとりながら、代表曲の演奏やオリジナル曲などセッションをしていきます。即興力を身につけるために、各回のテーマに沿った課題曲を時間をかけ演奏を実施する。必要に応じた講師からのフィードバックにより今後への課題を各自考察する。ヴォーカリストコースとのコラボレーションによる共創型課題も適時実施する。各楽器奏法の体得に加えて、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説する。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品の制作をPBLベースで実践を行う。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
西川進オリジナル教材を使う。Gt:スタジオミュージシャン厳選-すぐに使えるギター・バックギンまる覚え /Ba: はじめてのジャズベース /Dr: STICK CONTROL、ドラムパターン大辞典326適時、講師より教材を配布する。適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介。各自の将来の目標などリサーチ。授業の概要説明。DAWの基本的な使い方。Googleを使ったデータ送信方。課題発表の際、本名を使うかアバターネームを使うか説明。質問の送り方。C⇒F⇒G⇒Cのコード進行におけるフレージング。 ①Gt&Key:コードとバックギンについて概論 /Ba: フォームチェックとアドバイス /Dr: スティックの持ち方②8小節、16小節の定番コード進行でセッションを行う パート1「課題曲1」を初見で演奏。/サウンドロゴやBGM、効果音についての解説、導入。										
第2回	Am7⇒F△7⇒G⇒Cのコード進行におけるフレージング。 課題曲「stay positive」におけるフレージング。③Gt&Key:コードネームとその展開④ /Ba: コードネームの読み方 /Dr: セッティング及びフォーム、音色⑤8小節、16小節の定番コード進行でセッションを行う パート2「課題曲1」を予習ありで演奏。/ループ素材を使用したBGM作成1。										
第3回	F△7⇒C⇒G⇒Am7のコード進行におけるフレージング。 課題曲「stay positive」におけるフレージング。⑥Gt&Key:音域と音色⑦ /Ba: ヘ音記号の読譜 /Dr: シングルストローク、4分8分パターン⑧有名曲を使ったリードシートでセッション パート1決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/ループ素材を使用したBGM作成2 作品提出。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	
ベーシックレッスン1	
第4回	F ⇒ G ⇒ Em ⇒ Am のコード進行におけるフレージング。 課題曲「stay positive」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析① /Ba: P18練習曲の演奏① /Dr: シングルストローク、4分8分パターン②有名曲を使ったリードシートでセッション パート2「課題曲2」を初見で演奏。/リズムの打ち込み、基本的なリズムパターンのBGM作成1。
第5回	Am7 ⇒ F△7 ⇒ G ⇒ C のコード進行におけるフレージング。 課題曲「stay positive」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析② /Ba: P18練習曲の演奏② /Dr: シングルストローク、4分8分パターン③有名曲を使ったリードシートでセッション パート1「課題曲2」を予習ありで演奏。/リズムの打ち込み、基本的なリズムパターンのBGM作成2 作品提出。
第6回	Am ⇒ Em ⇒ F ⇒ G のコード進行におけるフレージング。 課題曲「stay positive」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析③ /Ba: P18練習曲の演奏③ /Dr: ダブルストローク、16分パターン有名曲を使ったリードシートでセッション パート2決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ制作1。
第7回	F ⇒ G ⇒ E7 ⇒ Am のコード進行におけるフレージング。 課題曲「キセキ」におけるフレージング。Gt&Key:8ビートリズムトレーニング /Ba: 4分音符リズムトレーニング /Dr: ダブルストローク、16分パターン②定番3コード進行（ブルース）のリードシートを読み解く パート1「課題曲3」を初見で演奏。/リズムと音階楽器を使用したサウンドロゴ制作2 作品提出。
第8回	ベースラインが降りていくパターン C ⇒ G/B ⇒ Am ⇒ G F ⇒ C/E ⇒ Dm ⇒ G のコード進行におけるフレージング。 課題曲「キセキ」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析④ /Ba: P34練習曲の演奏① /Dr: ダブルストローク、16分パターン③定番3コード進行（ブルース）のリードシートを読み解く パート2「課題曲3」を予習ありで演奏。/マイクを使用した音声収録、素材の準備。
第9回	ベースラインが半音で降りていくパターン（メジャーコードのクリシェ）C ⇒ G/B ⇒ Gm/Bb ⇒ F/A Fm/Ab ⇒ C/G ⇒ D/F# ⇒ G のコード進行におけるフレージング。 課題曲「キセキ」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析⑤ /Ba: P34練習曲の演奏② /Dr: シングルパラディドル、Swing&Shuffleパターン有名曲を使ったリードシートを読み解く パート1決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/音声を加えたサウンドロゴ制作1。
第10回	Amからベース音が降りるパターン（マイナーコードのクリシェ）Am ⇒ AmM7/G# ⇒ Am/G ⇒ F#m7-5 Am ⇒ E/G# ⇒ G6 (Gm6) ⇒ D/F#のコード進行におけるフレージング。 課題曲「キセキ」におけるフレージング。Gt&Key:練習曲の演奏と解析⑥ /Ba: P34練習曲の演奏③ /Dr: シングルパラディドル、Swing&Shuffleパターン②有名曲を使ったリードシートを読み解く パート2「課題曲4」を初見で演奏。/音声を加えたサウンドロゴ制作2 作品提出。
第11回	C ⇒ Bm7-5 E7 ⇒ Am のコード進行におけるフレージング。 課題曲「Break it out」におけるフレージング。Gt&Key:16ビートリズムトレーニング① /Ba: 8分音符リズムトレーニング /Dr: ダブルパラディドル、Swing&Shuffleパターン③スタンダードジャズ進行のリードシートを読み解く パート1「課題曲4」を予習ありで演奏。/Adobe Photoshopを制作に活用。
第12回	C ⇒ E♭dim ⇒ Dm ⇒ G のコード進行におけるフレージング。 課題曲「Break it out」におけるフレージング。Gt&Key:コードネームとその展開② /Ba: フィンガー奏法トレーニング /Dr: フラム系ルーディメンツ、4ウェイインディペンデンススタンダードジャズ進行のリードシートを読み解く パート2決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/Adobe Illustratorを制作に活用。
第13回	サブドミナントマイナーを使うパターン C ⇒ Fm ⇒ C ⇒ Fm のコード進行におけるフレージング。 課題曲「Break it out」におけるフレージング。Gt&Key:音域と音色② /Ba: ピック奏法トレーニング /Dr: フラム系ルーディメンツ、4ウェイインディペンデンス②試験対策 リズムセッション パート1 バイテン・ハーフ ワールドリズム「課題曲5」を初見で演奏。/Adobe Premiere Proを制作に活用。
第14回	テンションを使ったコード進行 F△7 ⇒ Eaug ⇒ Am7 ⇒ D7 のコード進行におけるフレージング。 課題曲「Break it out」におけるフレージング。Gt&Key:実践と応用 /Ba: スラップ奏法トレーニング /Dr: 前期ルーディメンツまとめ試験対策 リズムセッション パート2 バイテン・ハーフ ワールドリズム「課題曲5」を予習ありで演奏。/Adobe Premiere Proを制作に活用。
第15回	C ⇒ A♭ ⇒ B♭ ⇒ C のコード進行におけるフレージング。前期課題発表会。Gt&Key:スキルチェックとまとめ /Ba: スキルチェックとまとめ /Dr: スキルチェックまとめ前期まとめ決められたコード進行によるインプロヴィゼーション。/Youtubeアカウントを設定し作品を完成させる。